

海上輸送利用のガイドライン

～ 海上輸送による物流効率化の推進 ～

令和2年6月

中国地方国際物流戦略チーム
物流ネットワーク機能継続検討ワーキンググループ

【 目 次 】

1. はじめに
2. 海上輸送の特徴
3. 海上輸送利用の問い合わせ先（運航会社、物流事業者一覧）
 - 3-1. 広島港
4. 災害発生時の相談窓口
 - 4-1. 広島港
5. その他

1. はじめに

平成30年7月豪雨では、中国地方の各所において土砂災害や浸水被害あるいは長期にわたる断水等に見まわれ、日常生活、企業活動ともに大きなダメージを受け、また中国地方の東西を結ぶ幹線道路や鉄道等の物流の大動脈が寸断されました。これらのことから広域物流ネットワークの強靱化、とりわけリダンダンシーを確保することの重要性が改めて認識されたところです。

このような状況の中、産官学で組織する中国地方国際物流戦略チームでは、「非常災害時に代替輸送ルートを確保するため、陸上輸送に加えて日常的に海上輸送の仕組みを確保しておくことが必要」、「新たな代替輸送ルートの開発の検討」等の意見が出されました。これを受けて同戦略チームの中に物流ネットワーク機能継続検討WGを組織し、災害に備え、平時からトラック、鉄道、海上の輸送モードの多様化とこれら輸送モード間の相互補完関係の強化を図ることが議論されたところです。

以前から地球温暖化対策の観点から環境負荷の低い輸送モードへの切り替えが検討されてきましたが、最近では、トラックドライバーの高齢化や深刻な担い手不足の懸念から、トラック輸送から鉄道輸送や海上輸送への転換が徐々に進められています。また、平成30年7月豪雨災害や平成27年の熊本地震等では、海上輸送網が滞りなく機能しました。これらのことから災害時を含め、海上輸送が今後、さらに活用されることが期待されますが、いまだ十分に認知・活用されているとは言い難いのが実状です。

更には、令和2年当初から世界的に流行した新型コロナウイルス感染症が、中国地方の社会・経済活動にも大きな影響を与えています。

そこで、物流活動に関わる関係者の方々に、海上輸送の特徴やメリット、また港湾利用に際しての問い合わせ先などを紹介し、海上輸送利用も含めた輸送モードの多様化・安定化をさらに促進することを目的として本ガイドラインを作成しました。

この機会にご一読いただき、海上輸送の有効性に対する理解をよりいっそう深め、物流効率化および持続的な物流の仕組みの構築を検討される際の参考にしていただければと思います。

中国地方国際物流戦略チーム
物流ネットワーク機能継続検討WG

2. 海上輸送の特徴

特徴①

【物流コストの低減】

- 海上輸送はトラックや鉄道輸送に比べ、一度に大量の貨物を運ぶことが可能です。輸送ロットを大きくすることで物流コストの削減が期待できます。

※特に長距離で比較的高い頻度で貨物輸送を行っている事業者であれば、海上輸送を取り入れることで、物流の効率化や輸送コスト削減のメリットが大きくなります。

特徴②

【定時性の確保】

- 全国の主要都市間でフェリー、RORO 船、コンテナ船が定期運航を行っており、定時性が確保されます。

※台風等の異常荒天時を除き、ほとんど欠航がありません。

※トラックや鉄道の陸上輸送に比べ、リードタイム面では劣りますが、計画的な輸送計画、在庫調整などを行うことで、繁忙期のトラック確保や、事故や渋滞による納期遅延リスクが解消され、定時性が確保できます。

特徴③

【リスク分散による物流機能の継続】

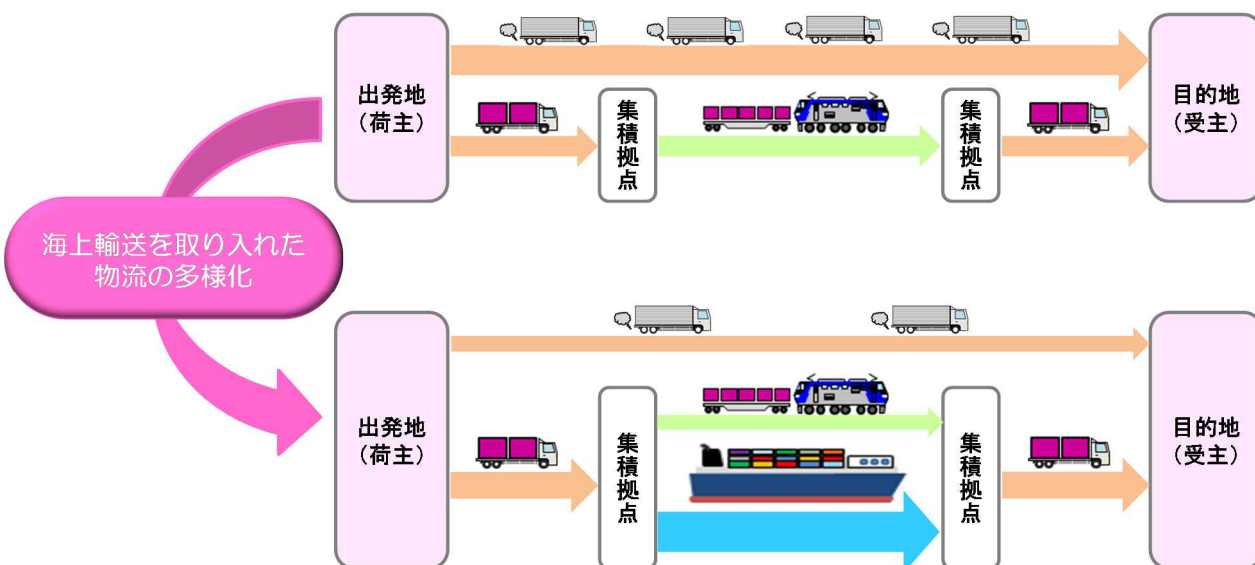
- 海上輸送を利用しておくことで、いざというときの物流網のバックアップルートの確保につながります。

※平成 30 年 7 月豪雨災害や、熊本地震などの災害時では、海上輸送網は健全に機能し、陸上輸送に変わる重要な輸送モードとして機能しました。

特徴④

【環境負荷の軽減】

- フェリー、RORO 船、コンテナ船などの海上輸送は、トラックによる陸上輸送に比べ、エネルギー消費が低く、二酸化炭素 (CO₂) の排出量も少ない、環境に優しい輸送モードです。



3. 海上輸送利用の問い合わせ先（運航会社、物流事業者一覧）

3-1. 広島港

（1）広島港を発着する主な航路（令和2年6月現在）

①国内旅客フェリー航路

【寄港地位置図】



【寄港地リスト】

船社名	便数	寄港地
瀬戸内海汽船(株)	10便/日	宇品-呉-松山
上村汽船(株)	22便/日	宇品-江田島(切串)
瀬戸内シーライ(株)	14便/日	宇品-江田島(三高)

※離島など海上輸送のみの航路は除く

②国際コンテナ航路（韓国）

【寄港地位置図】



【寄港地リスト】

船社名	便数	寄港地
興亜ライ(株) (Heung A LINE)	2便週	松山・広島-今治・岩国-釜山-釜山新港- 広島・岩国-伊予三島-釜山-釜山新港- 高知-高松・福山-徳島-大竹-釜山- 釜山新港
汎洲海運(株) (Pan-Con Shipping)	1便週	広島-神戸-大阪-高松-水島-蔚山-釜山- 広島
カリアライ(株) (CAMELLIA)	2便週	広島-釜山-門司-徳山-広島-釜山-門司- 中関-徳山-広島
天敬海運(株) (CK LINE)	1便週	広島-水島-門司-博多-釜山-門司- 伊予三島-広島
高麗海運(株) (KMTC)	2便週	広島-伊万里-松山-舞鶴-境港-伊万里- 釜山-釜山-伊万里-広島-高松-水島- 今治-釜山-広島
	1便週	広島-釜山-浦項-蔚山-釜山-大阪-神戸- 水島-福山-広島

③国際コンテナ航路（中国）

【寄港地位置図】

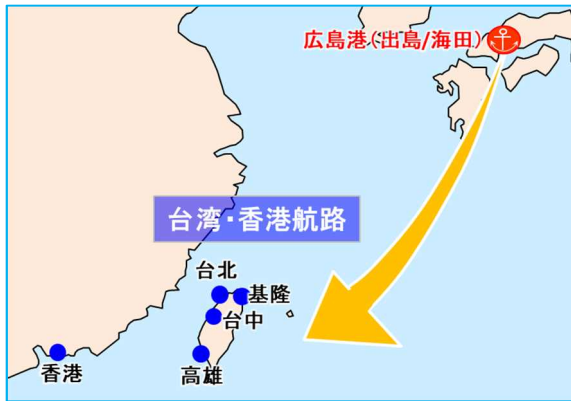


【寄港地リスト】

船社名	便数	寄港地
神原汽船(株)	2便週	広島-細島-志布志-寧波-上海-伊万里- 福山-水島-広島-志布志-天津新港-大連- 青島-福山-水島-広島
	1便週	広島-大分-上海-福山-水島-三島川之江- 広島
民生輪船 有限公司	1便週	広島-中関-大連-天津新港-青島-伊万里- 福山、水島、高松-広島
	1便週	広島-岩国-上海-福山-水島-高松-広島
	1便週	広島-徳山-上海-中関-水島-福山-広島

④国際コンテナ航路（台湾・香港）

【寄港地位置図】



【寄港地リスト】

船社名	便数	寄港地
ワカライクス(株)	1便/週	広島—門司—台北—台中—高雄— 香港—大阪—水島—福山—広島
I-LINE (愛媛オセアニア(株))	1便/週	松山・広島—大分—釜山— 薩摩川内—那覇—基隆—台中— 高雄—基隆—那覇—志布志— 松山・広島

⑤国際コンテナ航路（北米）

【寄港地位置図】



【寄港地リスト】

船社名	便数	寄港地
イースタン・ カーライナー(株)	1便/月	広島—(未定：日本、中国、韓国) —ロングビーチ(米国)—バンクーバー— (カナダ)—シアトル(米国)—東京 —名古屋—広島

⑥国際フィーダー（コンテナ）航路

【寄港地位置図】



【寄港地リスト】

船社名	便数	寄港地
マツダのり(株) 井本商運(株)	5便/週	広島—神戸—大阪
OOCL(株)	2便/週	広島—神戸 (福山、今治、松山、岩国、 中関、徳山等を經由)
OOCL(株)	1便/週	広島—神戸 (ひびき、宇部、門司等を經由)

⑦国内RORO・PCC航路

【寄港地位置図】



【寄港地リスト】

船社名	便数	寄港地
マツダのり(株)	3便/2週	広島—千葉
マツダのり(株)	2便/週	広島—中関—堺—衣浦—四日市 —広島

(2) 広島港利用の問い合わせ先一覧

①国内旅客フェリー航路

一般社団法人中国旅客船協会 広島県旅客船協会事務局

会社名	広島県旅客船協会事務局（広島地区旅客船協会）
問い合わせ先	所在地：広島県広島市南区宇品海岸 1 丁目 13-26
	TEL：082-253-6907
	ホームページ：http://chu-ships.jp/index.html

瀬戸内海汽船株式会社

会社名	瀬戸内海汽船株式会社
運行航路	呉・松山航路
搭載可能最大車両	積み付け高さ：3.8m以下
	搭載可能車長：17m未満
	搭載可能重量：40t 未満
問い合わせ先	所在地：広島県広島市南区宇品海岸 1 丁目 13-13
	TEL：082-253-1212
	ホームページ：http://setonaikaikisen.co.jp/

上村汽船株式会社

会社名	上村汽船株式会社
運行航路	江田島（切串）航路
搭載可能最大車両	積み付け高さ：4m未満
	搭載可能車長：16m程度まで
	搭載可能重量：20t 未満
問い合わせ先	所在地：広島県広島市南区宇品海岸 1 丁目 13-26
	TEL：082-256-5935
	ホームページ：http://kamimurakisen.com/

瀬戸内シーライン株式会社

会社名	瀬戸内シーライン株式会社
運行航路	江田島（三高）航路
搭載可能最大車両	積み付け高さ：3.8m以下
	搭載可能車長：要相談（ただし、大型観光バスは不可）
	搭載可能重量：20t 未満
問い合わせ先	所在地：広島県広島市南区宇品海岸 1 丁目 13-13
	TEL：082-254-1701
	ホームページ：http://setonaikaikisen.co.jp/sealine/

②国際及び国内貨物航路

井本商運株式会社

会社名	井本商運株式会社
取扱品目	飲料・家具・自動車部品等の製品他、樹脂等の原料の取扱実績があります（梱包、バン詰め、バン出しは対応不可）。
対応可能な輸送手段	海上コンテナ輸送（内航）
対応可能な温度管理	リーファーコンテナの積載に対応した船舶をご用意しています。
集荷可能エリア	寄港地周辺へのドレージ手配が可能です（車上受け条件）。 中国地方の主な寄港地：水島、広島、大竹、徳山、防府
配送可能エリア	寄港地周辺へのドレージ手配が可能です（車上渡し条件）。 主なエリア：北海道、東北、関東、中部、近畿、四国、九州
取扱可能な最小ロット	定期港：1コンテナ（FULL CONTAINER LOAD = FCL）より 不定期港：目安は揚積20コンテナ（ご相談下さい）
セールスポイント	海上コンテナ利用で輸送ロットを大口化できます（積載量目安：20フィート/21.5ト、40フィート/26.5ト）。ご利用経験のない企業様におかれましても、お気軽にお問い合わせ下さいませ。
問い合わせ先	所在地：兵庫県神戸市中央区浪花町59番地 神戸朝日ビル TEL：営業部 078-322-1604 ホームページ： http://www.imotoline.co.jp/

広島みなと振興会

会社名	広島みなと振興会（事務局：マツダロジスティクス(株)）
問い合わせ先	所在地：広島県広島市南区宇品海岸3丁目1番79号 TEL：事務局 082-251-3344 ホームページ： http://h-minato-pg.org/structure.shtml

（輸送手段別の問合せ先）※各社お問い合わせ連絡先は、広島みなと振興会ホームページをご活用ください。

陸上輸送			
広島港⇄県内指定場所(倉庫,工場など)			
トラック	トレーラー	コンテナ	
マツダロジスティクス(株)、広島荷役(株)、日本通運(株)広島海運支店、山九(株)広島支店、(株)ヒロクラ			
海上輸送			
広島港⇄国内航路		広島港⇄国際航路	
トレーラー	コンテナ	コンテナ	在来(大型・重量貨物)
マツダロジスティクス(株)	マツダロジスティクス(株)、広島荷役(株)、日本通運(株)広島海運支店、山九(株)広島支店、(株)ヒロクラ		

各種輸送方法の積載容量(目安)

- ・トラック
 - 10トウイング荷台寸法：長さ9,000mm前後・幅2,400mm前後・高さ2,200mm前後
 - 4トウイング荷台寸法：長さ6,200mm前後・幅2,130mm前後・高さ2,200mm前後
- ・トレーラー
 - 13mアルミウイング荷台寸法：長さ12,650mm前後・幅2,400mm前後・高さ2,310mm前後
- ・コンテナ
 - 40フィート内寸：長さ12,033mm前後・幅2,352mm前後・高さ2,691mm前後
 - 20フィート内寸：長さ5,899mm前後・幅2,352mm前後・荷台高さ2,386mm前後

※上表以外にも、貨物に応じ様々な輸送方法がございますので、ご遠慮なくお問い合わせください。

4. 災害発生時の相談窓口

災害発生後、各港において、以下の事業者に連絡を取ることで、各港での物流の再開のお知らせや海上輸送の調整等を実施します。

なお、災害の状況によっては、平時と異なり、多くの貨物が港湾に集中することが予想されるため、ご希望に添えない場合もあります。

※災害発生直後は海上輸送においても緊急物資輸送を第一優先に実施しています。また施設の被害状況の確認等もあるため、災害発生後、一定期間経過した後でないとは物流への対応が困難な場合もあります。

4-1. 広島港

(1) 災害発生後の広島港での海上輸送に関する相談窓口

会社名	連絡先
広島県旅客船協会事務局	082-253-6907
瀬戸内海汽船株式会社	082-253-1212
似島汽船株式会社	082-251-6516
上村汽船株式会社	082-256-5935
瀬戸内シーライン株式会社	082-254-1701
井本商運株式会社	078-322-1604
広島みなと振興会	082-251-3344

(2) 広島港までの道路状況や航路状況

港の施設、航路の被害状況や港に至るまでの道路の状況を確認できます。

官公庁	連絡先	提供情報
広島県（広島港港湾管理者）	082-223-3428	港の施設の被害状況 港に至るまでの道路の状況
中国地方整備局港湾空港部	082-511-3928	
中国運輸局海事振興部	082-228-3690	航路の被害状況

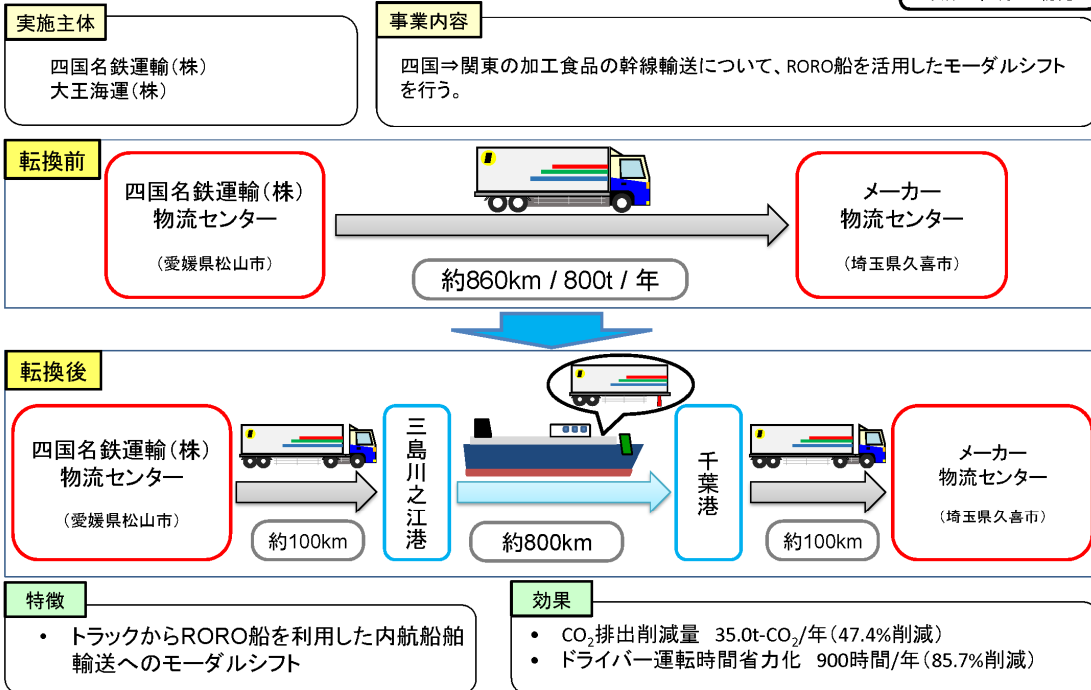
5. その他

海上輸送利用による物流効率化の事例

127. RORO船の活用による加工食品輸送のモーダルシフト

国土交通省

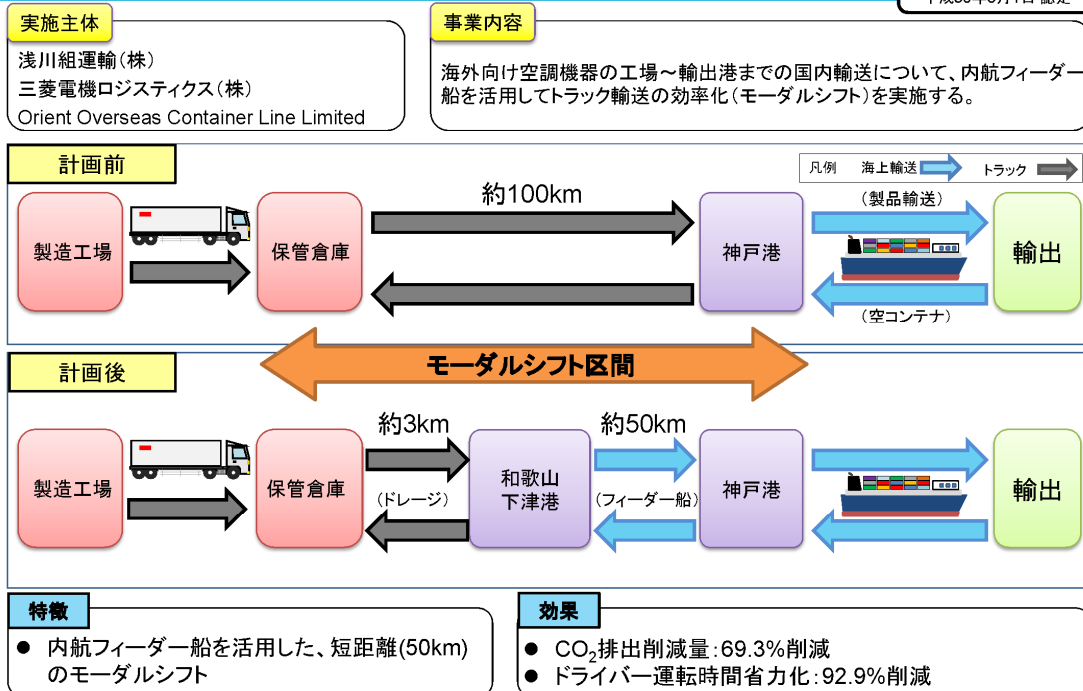
平成31年2月5日 認定



103. 内航フィーダー船を活用した、輸出貨物の国内トラック輸送の効率化(モーダルシフト)

国土交通省

平成30年8月1日 認定



本ガイドラインは中国地方国際物流戦略チームのホームページへ掲載しています。

<http://www.pa.cgr.mlit.go.jp/kokusai/index.html>